

1. 件名：原子力エネルギー協議会との面談
2. 日時：令和5年8月31日（木）16：00～17：00
3. 場所：原子力規制庁8階会議室
4. 出席者：
  - 原子力規制庁
  - 技術基盤グループ
    - 技術基盤課 佐々木企画調整官、藤澤技術参与、山田専門職
    - システム安全研究部門 小嶋統括技術研究調査官、田口主任技術研究調査官

原子力エネルギー協議会 理事 他3名  
北海道電力株式会社 原子力設備グループ グループリーダー 他2名  
関西電力株式会社 保全計画グループ マネジャー 他3名  
四国電力株式会社 原子力部 設備保全グループ 副リーダー  
九州電力株式会社 原子力発電本部 原子力経年対策グループ 副長 他2名  
日本原子力発電株式会社 発電管理室 設備管理グループ 課長 他1名  
(テレビ会議システムによる出席)

5. 要旨：
  - 8月3日のATENA面談において、原子力規制庁より、米国H.B.ロビンソン原子力発電所2号機の炉心そこの割れに関し、産業界においてどのような対応を検討しているのか情報提供を依頼していた。
  - ATENAより、資料1を用いて情報提供があった。
  - 原子力規制庁より、産業界の当面の対応について記載を充実化するように依頼した。
  - ATENAより、了解した旨の発言があった。

6. 配布資料：
  - 資料1 H.B.ロビンソン2号機 炉心槽割れに関する事業者の受け止めについて